

今年のは、収穫遅れに注意し、鮮度感のあるうちに収穫しましょう！！

東地区管内のふじの肥大は、薬師堂・森山 8.4 cm、狼森 8.5 cm、駒木・古懸 8 cmと平年より大玉傾向となっています。向こう 1 ヶ月間は気温が平年より高く、日照時間、降水量は平年並みの予報となっています。早生種の収穫、中・晩生種の着色管理は計画的に進め、農作業中事故には十分注意しましょう。

1. 早生種の入庫期間について

高温で推移した影響から、平年に比べ酸度が低い傾向にあります。そのため収穫が遅れると味抜けや軟質果など品質の低下が心配されます。着色の進んだものから随時すぐりもぎを行い鮮度感のあるうちに収穫しましょう。
収穫することにより、残ったりんごの着色が進みやすくなります。

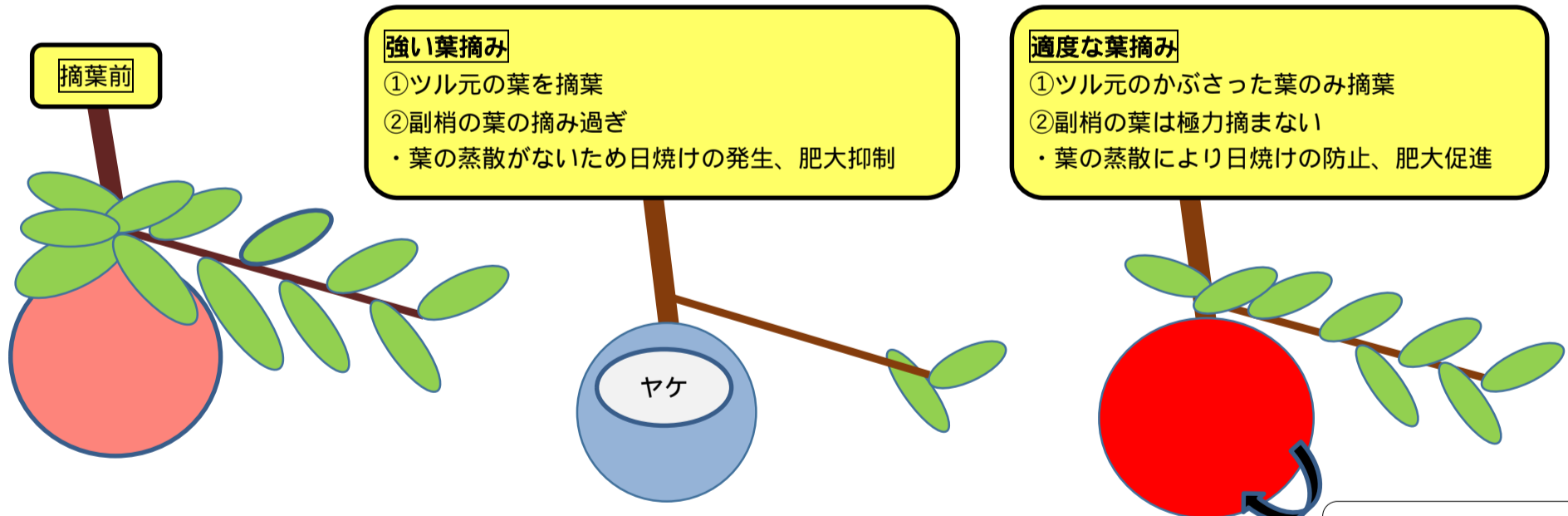
品 種	入庫受付期間	注意事項
きおう	8/27 ~ 9/20	スグリもぎが必要です。オセが付きやすいため、収穫や運搬の際には特に気をつけましょう。
未希ライフ	8/27 ~ 9/12	軟質果に注意し、着色の進んだものからすぐりもぎを徹底しましょう。 スグリもぎを行うことにより、残った果実に対し葉の枚数が増加しますので着色が進みません。
サンつがる	8/27 ~ 9/20	
葉とらずつがる	8/27 ~ 9/20	

○ポイント！収穫はストッポール散布後 25 日までに終える！！

ストッポール散布後 25 日過ぎると、落果するものや導管切れを起こすものが増え、品質が急激に低下します。散布 25 日を経過するまでに終わらせるよう、計画的に作業を進めましょう。

2. 今後の管理について

- (1) ひろさきふじ ・この時期は日中の気温が高い日が多いため、強い葉摘みを行うと【日ヤケ】を助長します。適度な葉摘みを心がけましょう。
 ・反射シートは葉摘み終了 1 ~ 2 日後に敷くようにし、タイベックなど温度の上がりにくい白いタイプを敷きましょう。
 ・着色が進んで、ツル元の青実が抜け白っぽくなったなら収穫適期です。
- (2) トキ ・食味重視の品種ですので糖度をしっかりとせて収穫しましょう。陽光面がうすく赤色になったところが収穫適期です。
- (3) ジョナゴールド ・強い葉摘みを除袋前に行うと着色不良、軟質果の原因となりますので行わないでください。
 ・除袋後に適度な葉摘みを行い、力強い着色で、鮮度の良いジョナゴールドを収穫しましょう。
 ・平均気温が 15 を下回る頃から除袋を行い、果実に付着した葉を摘み取る程度の葉摘みを行いましょう。



3. 日焼け防止対策

- (1) 日焼けの原因は、昼夜の温度格差が大きい日、最高気温 28 以上、果実が冷たいうちに強い日差しを受ける、葉の摘み過ぎ（果実に養水分が供給できなくなり、気温とともに果実温度が一気に上昇し日焼けとなります）などにより引き起こされます。
- (2) 着色管理（除袋・葉摘み・玉回し・支柱入れなど）を行う時間帯は、果実の温度が温まる午前 10 時から午後 3 時頃までに行いますが、前日の夜温が極端に低い日や 日中の温度が高温となる日は前述の時間に限らず注意するようにしましょう。

多少の日陰も
玉回しで全面着色！

4. 薬剤散布について

管内では褐斑病が一部園地で見られております。降雨前の散布で被害の軽減に努めましょう。

散布時期 散布量	対象病害	薬剤名	倍 数	1,000 ㎡当 薬量	収穫前日数	防除上の注意
9月中旬頃 500 ㎡	すす点・すす斑病 黒星病・褐斑病 (予防剤です)	ストライド 顆粒水和剤	1,500 倍	666g (333g × 2 袋)	前 日	前回の散布から 14 日以内で、降雨前に散布。